

ソフトウェア総合カタログ
Shimadzu Software Comprehensive Catalog

LabSolutions



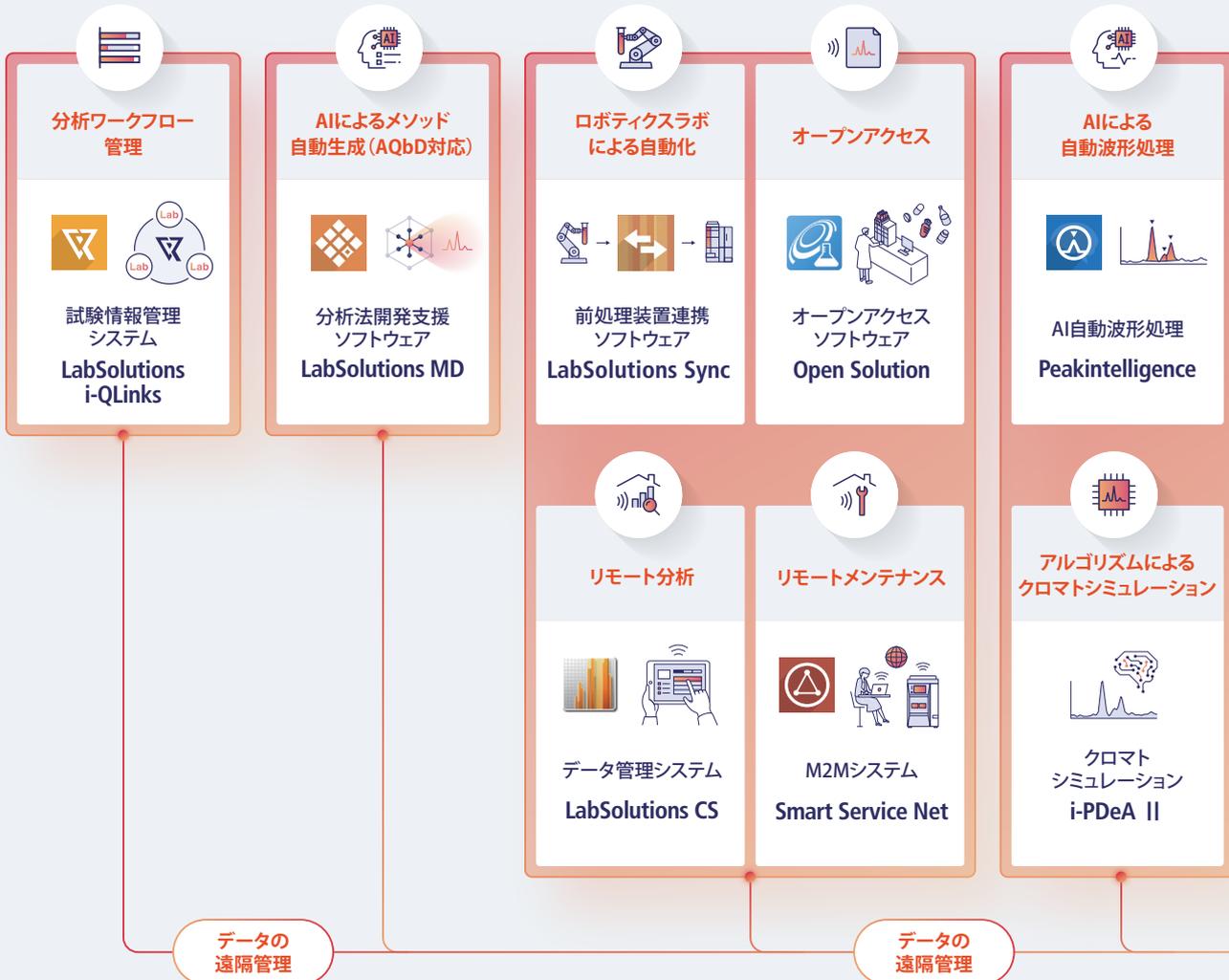


分析ラボのワークフローを支える LabSolutions

Workflow
ラボのワークフロー



Software
ワークフローに対応する島津のソフトウェア



LABの属人性の解消、人材の有効活用、働き方改革をサポート

最先端の分析計測機器、ロボティクス、AI、IoT技術でLABにおける属人性を解消することで、研究者はより高度な業務への従事が可能となり、分析プロセスにおける生産性が向上、「LABの変革」を実現します。

解析・合否判定

レポート生成

分析データ
統合管理

自動処理の
結果確認

多検体解析～合否判定



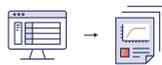
多検体定量解析
ソフトウェア

多検体スクリーニング
ソフトウェア

LabSolutions Insight

LabSolutions Insight Explore

装置横断レポート
自動生成～合否判定



統合レポート生成
ソフトウェア
マルチデータ
レポート

分析データ統合管理(DI対応)



データ管理システム

LabSolutions CS

核酸医薬専用解析～合否判定



核酸医薬向けデータ解析専用システム

LabSolutions Insight Biologics

データの
遠隔管理

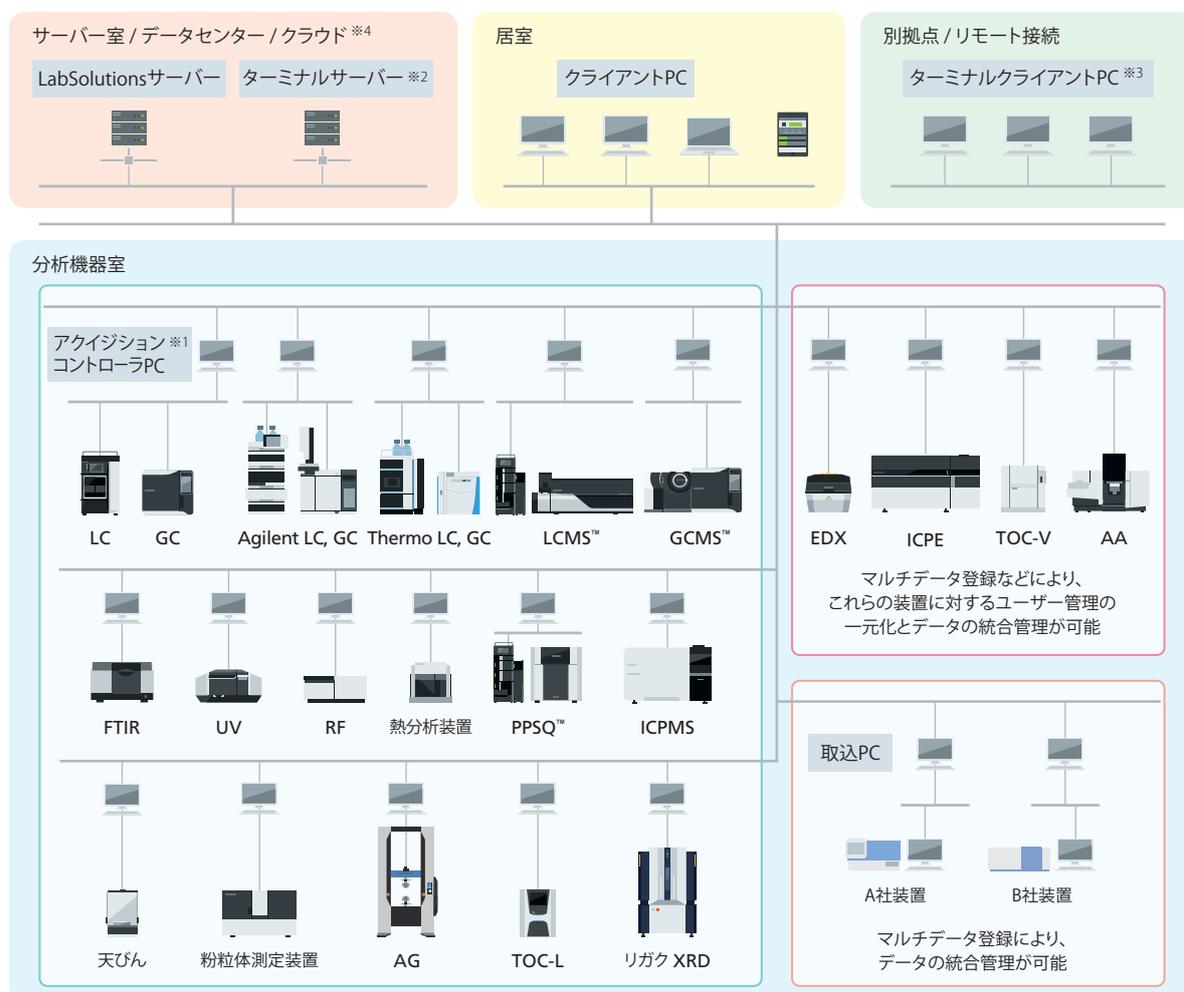
データの
遠隔管理



多様化するラボの運用を柔軟にサポート

LabSolutions CSは、サーバー上のデータベースであらゆる分析データを一元管理できるネットワークシステムです。データベースによる分析データの管理機能をはじめとする、厚生労働省のER/ES指針やPart11が要求する機能を搭載し、データインテグリティ（Data Integrity：データの完全性）対応など、規制対応を効率的に支援します。また、ユーザー／プロジェクト管理機能により、アカデミアや公設の装置共用施設を利用の際も、各データをプロジェクトやユーザー毎にセキュアに管理できます。各クライアントPCからHPLC、GC、LC-MS、GC-MS

のリモート制御や、多機種のデータ解析を行うことができます。また、Agilent Technologies社（以下Agilent）、Thermo Fisher Scientific社（以下、Thermo）のHPLC、GCを直接制御することもでき、他社装置のデータ取込も可能です。サーバーは施設内に設置するサーバーに加え、各種クラウド（IaaS）にも対応しています。また、LIMSやELN等の上位システムとの連携や、各種遠隔化ソリューションにも対応しており、多様化するラボに柔軟にあわせて効率的な運用を実現します。

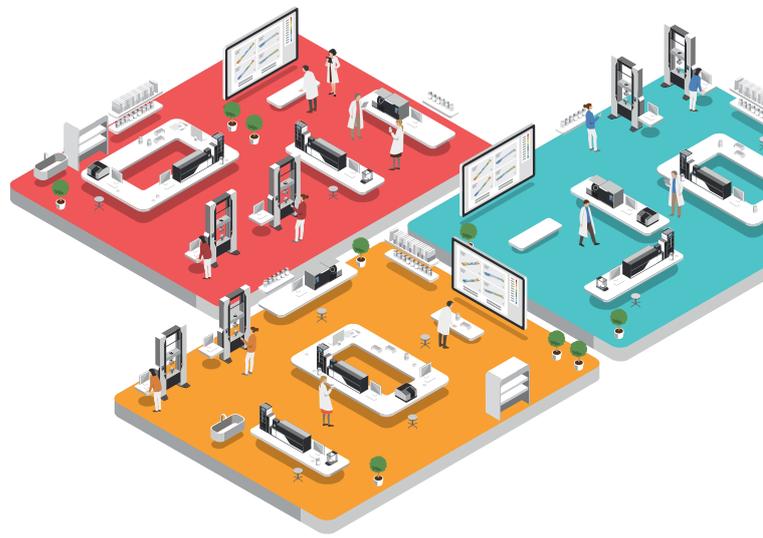


※1 アクイジションコントローラPCは分析装置を制御するためのPCです。

※2 ターミナルサービスを利用するためのサーバーです。ターミナルサービスでは、データ・レポートの閲覧や電子署名操作ができ、ネットワーク負荷が低いため、リモート接続に最適です。ターミナルサービス上での分析・再解析操作はLC、GC、LCMS、GCMSのみ対応しています。

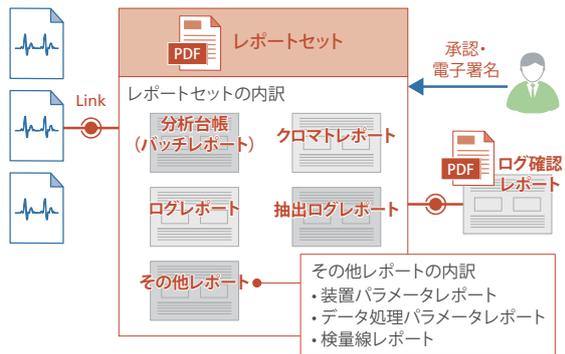
※3 ターミナルサービスを使用する場合、クライアントPCまたはタブレットにLabSolutionsソフトウェアのインストールは不要です。

※4 各種クラウド（IaaS）でも動作します。AWS（Amazon Web Services）、Microsoft® Azure®、GCP™（Google Cloud Platform™）



レポートセットでデータの信頼性向上と業務効率化を両立

レポートセットは、一連の分析（バッチ分析）の分析情報と分析結果・条件、さらに分析作業の開始から終了までのすべての操作ログをひとつのPDFファイル（レポートセット）としてまとめることができる、LabSolutions独自の機能です。レポートセットを作成することで、一連の分析結果が紐づけられ、差し替えや改ざんを防止し、分析に関する情報・操作ログ・結果を1つのレポート内でレビューできます。また、レビューすべきログの項目をあらかじめ設定することで、レビューに必要なログを自動で抽出でき、厳格化する規制対応に効率的に対応できます。さらに、分析結果やログの確認記録の保存、電子署名にも対応しており、ペーパーレス化と業務の効率化を実現します。



あらゆる装置の分析結果で自動的にレポートを作成

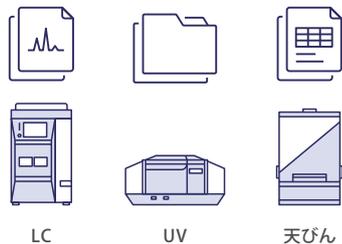
マルチデータレポートを使用することで、さまざまな目的に応じたスプレッドシート形式のレポートが作成できます。分析結果とあらかじめ用意したテンプレートとを選択するだけで、定量計算やグラフを含むレポートの作成が可能です。そのため、実験ノートや表計算ソフトウェアなどへの手動での転記が不要

となり、ヒューマンエラーを抑制し、データの改ざんや差し替えも防止できます。

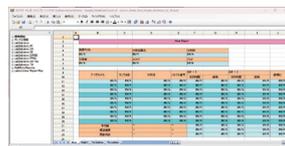
あらゆる装置の分析結果を組み合わせたレポートを、3ステップで簡単に作成でき、レポート作成をより効率化します。

LabSolutions データベース

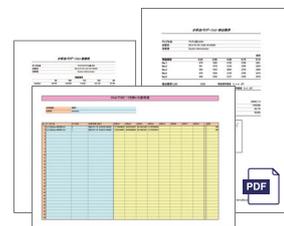
STEP 01
分析結果と



STEP 02
テンプレートを選ぶと



STEP 03
レポート完成

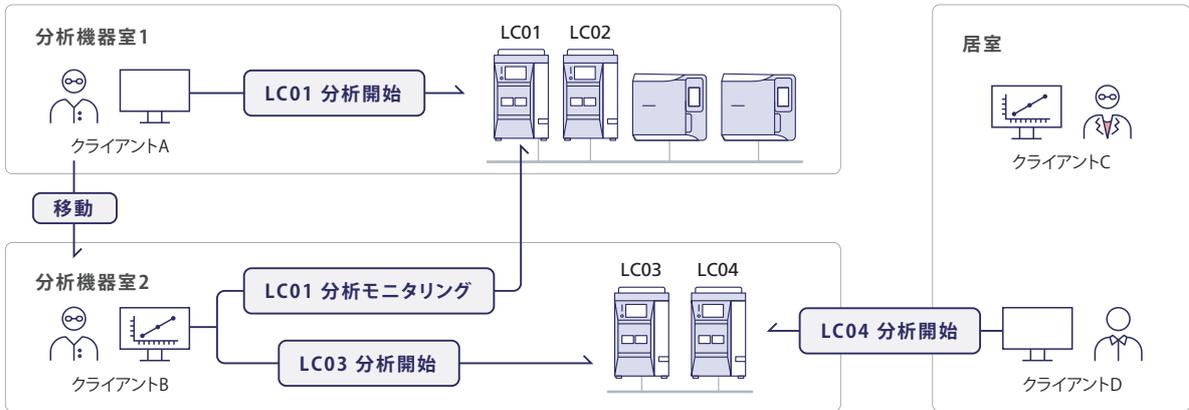


分析PC 以外からでも制御・解析可能

スタンドアロンの場合、装置と接続しているPCは分析を実行しているユーザーに占有され、他のユーザーはデータ閲覧や再解析ができません。LabSolutions CSでは、セキュリティを維持しながらラボ・居室と場所を問わず、自由に装置やデータにアクセスできます。例えば、分析開始前は、分析機器室にある

クライアントPCで分析条件の設定・分析を行い、分析開始後は、居室のクライアントPCから運転状況の確認・装置制御、データ解析ができます。分析の進捗状況、装置制御、レポート作成などの分析業務の作業効率を高めることができます。

※分析、解析操作はLC、GC、LCMS、GCMSのみ対応しています。



プロジェクトごとに関連情報を管理

業務やシステムの運用に合わせて、プロジェクトという単位で装置・ユーザー・セキュリティポリシーやデータ、データ解析の設定・管理を行うことができます。これにより、適切な担当者が適切な情報のみにアクセスでき、データの検索や管理作業をセキュアに行うことができます。





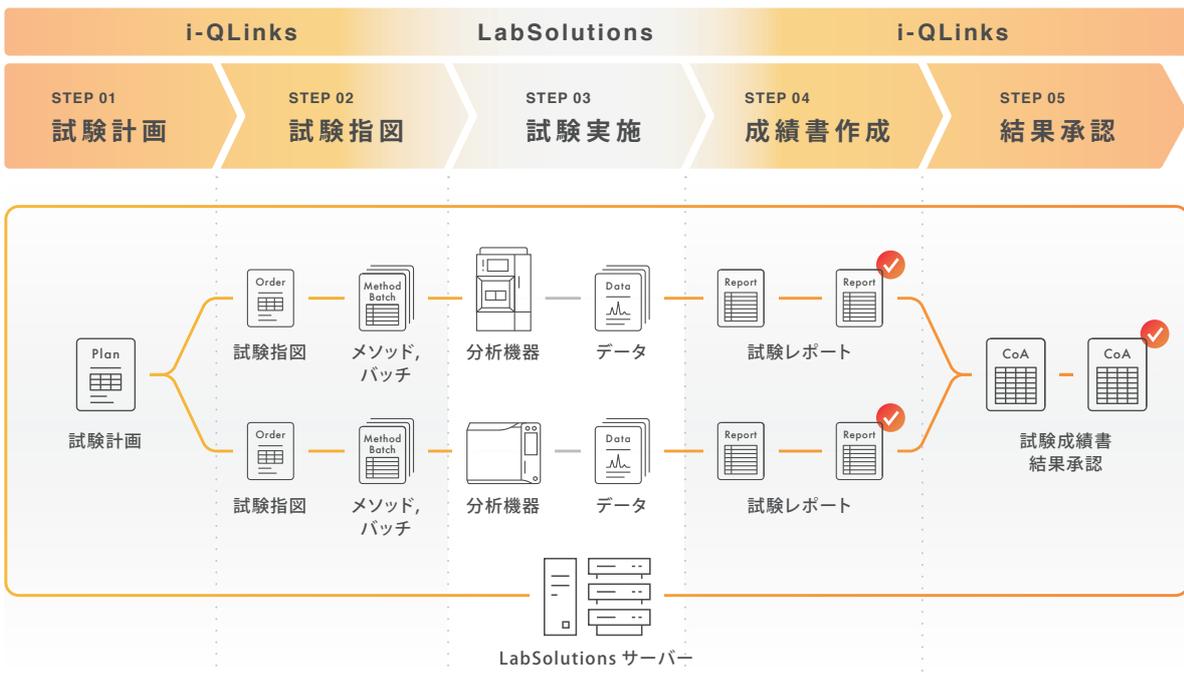
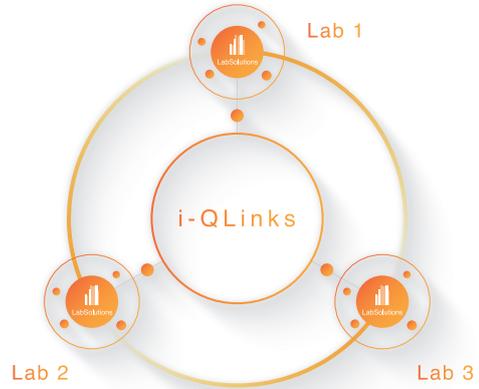
分析ワークフロー管理

LabSolutions i-QLinks™

Product



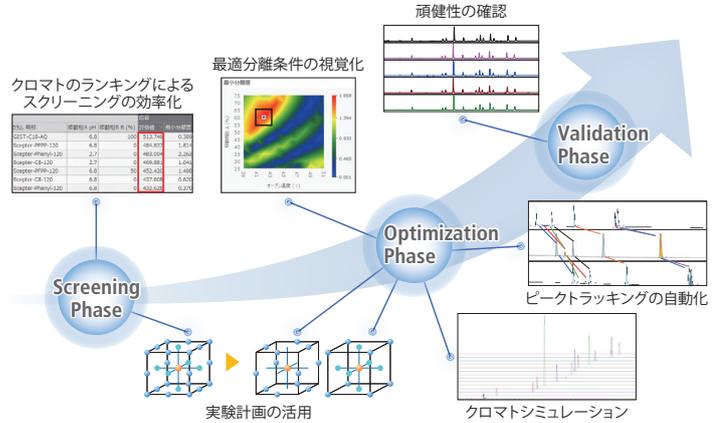
分析ラボの分析試験業務に特化した簡易LIMSです。試験計画や試験指図の作成、HPLCなどの分析装置の試験結果の取り込み、取り込まれた試験結果からの試験レポートの自動作成、試験の進捗状況の管理等、分析ラボの試験業務を統合的に管理できるWebシステムです。個人のPCにソフトウェアのインストールが不要で、ブラウザから利用できます。LabSolutions CSとシームレスに連携し、i-QLinks上の試験計画を基に試験指図を作成できます。また、分析装置で得られたデータは自動的に転送され、試験レポートを作成できます。試験項目や試験指図、試験の生データに至るまでの情報を一元的に管理でき、データインテグリティ対応をサポートします。これらにより、ラボの試験業務の信頼性を確保するとともに作業効率を飛躍的に向上させることができます。





より効率的に、より信頼性の高い分析法の開発を実現

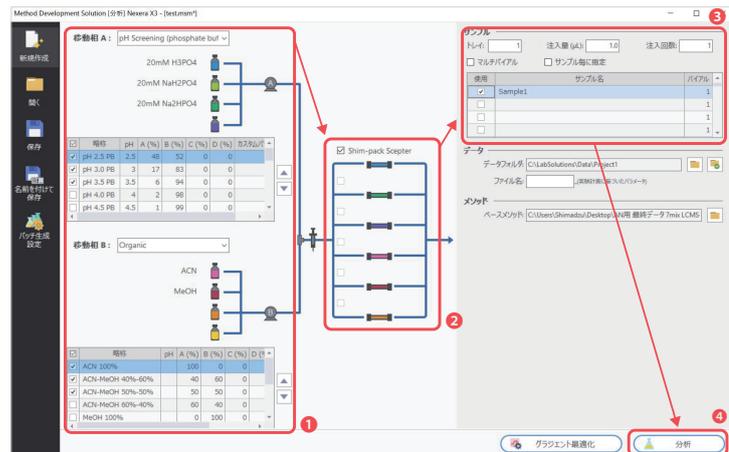
LabSolutions MDは、開発の経緯や根拠を明確にして分析法を評価・検証する手法 “Analytical Quality by Design (AQbD)” に基づき、実験計画法によるデータ収集からデザインスペースによる視覚化までの一連の分析法開発フローを効率化し、熟練者でなくても最適な分析法の開発を可能にします。



移動相 / カラムスクリーニング用の分析スケジュールを簡単に作成 & 実行

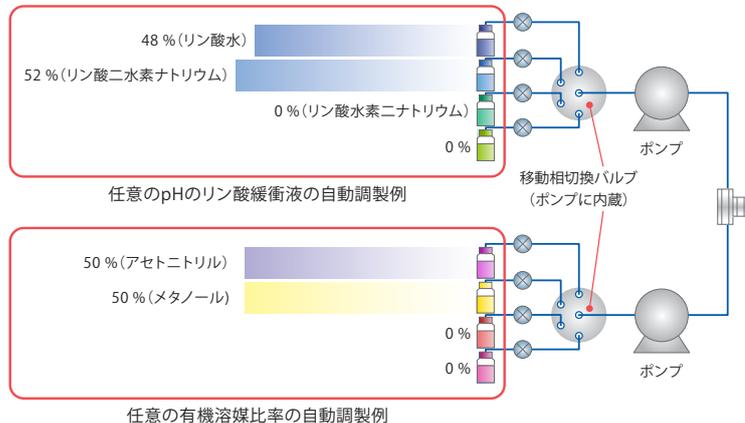
スクリーニングに必要な膨大な数のメソッドファイル及び分析スケジュール作成を、下記①～④の4つのステップだけで素早く完了できます。使用する移動相やカラムは1クリックで選択でき、カラム平衡化も反映した網羅的なスケジュールが自動で生成されるため、作業の効率化だけでなく、ミスの低減も可能です。

- ① 移動相を選択
- ② カラムを選択
- ③ サンプル情報を入力
- ④ 分析スケジュール作成



移動相ブレンディング機能による移動相の自動調製

移動相ブレンディング機能は、あらかじめ用意した数種の移動相のみで、水系移動相の pH や有機系移動相の混合比率を任意に変更し自動調製可能です。手動での調製作業の負担を大幅に削減するだけでなく、調製ミスも防げます。



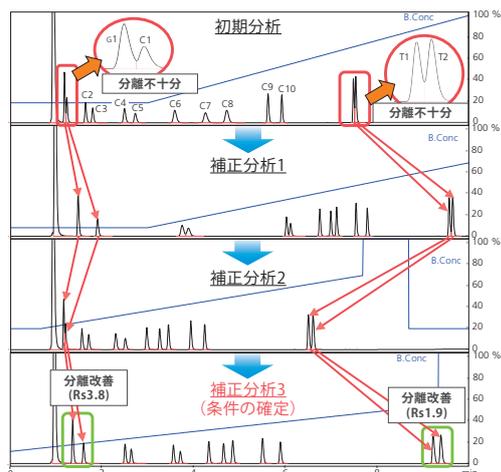
LabSolutions MD を用いた移動相の pH スクリーニングの自動化による最適な分離条件探索の効率化

独自のAIアルゴリズムに基づくグラジエント条件の自動最適化

LabSolutions MDは、グラジエント条件の自動最適化のための独自のAIアルゴリズムを搭載しており、分離度のクライテリアを設定することで、これを満たすグラジエント条件の探索を自動化します。通常の方法開発ワークフローでは、分析スケジュールの作成やデータ解析においては、「人」による改良が必要です。一方、本機能は分析で得られたデータを元に次のグラジエント条件を自動生成し登録します。初期設定以降は、「人」の介入なくして、無人でグラジエント条件の探索を可能とするため、作業の大幅な省力化が見込めます。

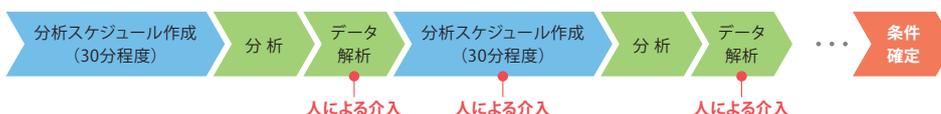


LCメソッド開発におけるAIアルゴリズムを用いたグラジエント条件の自動最適化



AIによるグラジエント条件の自動探索 (カテキン類及びテアフラビン類)

■ 通常のグラジエント条件最適化のワークフロー



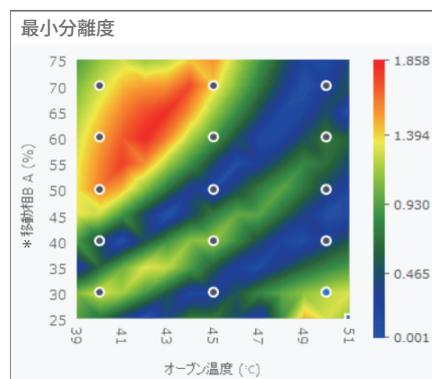
■ LabSolutions MDによるグラジエント条件最適化のワークフロー



因子と応答の関係の視覚化、最適な分析条件を特定

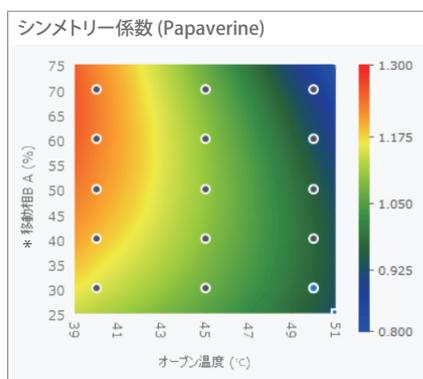
初期スクリーニングにおいて選択した水系移動相のpH及びカラムを固定し、有機系移動相の混合比率を5点 (30%、40%、50%、60%、70%)、カラムオープン温度を3点 (40℃、45℃、50℃)、グラジエントの終濃度を3点 (75%、80%、85%) 設定し、分析条件の最適化を図りました。パラメータの変動が分離に与

える影響を、縦軸を有機系移動相の混合比率、横軸にカラムオープン温度をとり、デザインスペースとして視覚的に描画可能です。デザインスペースは分離度だけでなく、シンメトリー係数、理論段数といった複数の応答に関する描画が可能です。



最小分離度に関するデザインスペース (グラジエント終濃度: 75%時)

*「移動相B A」: Pump Bの移動相A (アセトニトリル)
図中の黒丸は分析を実施した点



シンメトリー係数 (Papaverine) に関するデザインスペース (グラジエント終濃度: 75%時)

*「移動相B A」: Pump Bの移動相A (アセトニトリル)
図中の黒丸は分析を実施した点



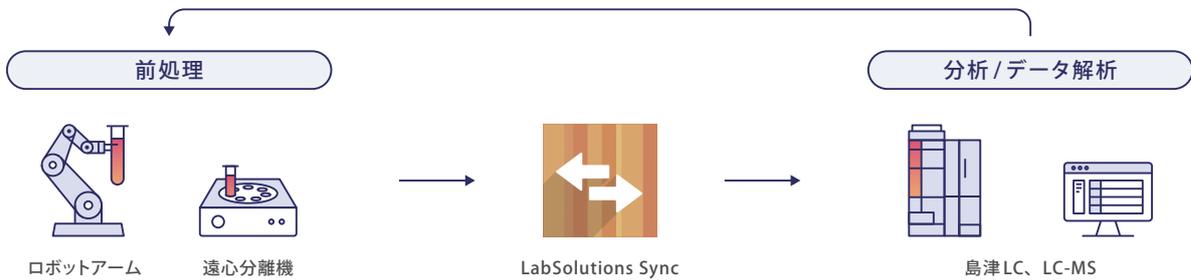
固定相の異なるカラム間の分離選択性の違いの視覚化による最適カラム探索の効率化



ロボティクスラボによる自動化

LabSolutions Sync

Product



LabSolutions Syncは、前処理装置や合成装置などの他社ソフトウェアと当社LC、LC-MS用LabSolutionsをシームレスに連携し、システム全体の自動化を支援するオプションソフトウェアです。分析ラボのワークフロー全体を通した自動化により、トータルの省力化、コスト削減を実現できます。前処理装置や合成装置を制御する、他社ソフトウェアが作成した分析用ファイルをLabSolutions Syncが自動で読み込み、分

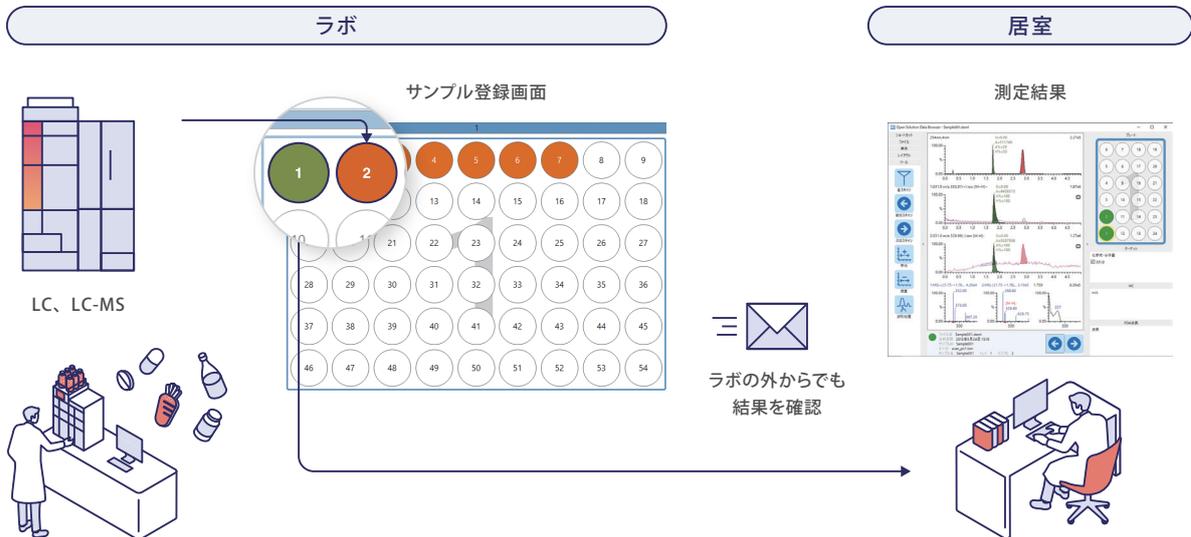
析することで、化合物の合成からLC、LC-MSでの分析ワークフローを自動化します。また、分析完了時に出力するデータの解析結果やレポートを他社解析ソフトウェアで読み込むこともできます。さらに、当社LC、LC-MSのシャットダウンの自動実行や装置ステータスの他社ソフトウェアへの通知ができ、きめ細やかなシステム連携が可能です。



オープンアクセス

Open Solution

Product



オープンアクセス環境下でのLC、LC-MS分析および分取をサポートするソフトウェアです。シンプルな画面でサンプル登録が可能です。サーバーにデータブラウザをセットアップすることで、個人のPCにソフトウェアをインストールすることなく、測定結果を確認できます。データブラウザでは、クロマトグラムやMSスペクトルの一覧表示など、データの確認からレポート

作成までをシンプルな操作で行うことが可能です。分析から分取へのスケールアップ機能も備え、分析結果のピーク分離などの条件をもとに3段階で判定し、分取条件を自動で生成します。分取結果をデータブラウザで確認することで、クロマトグラム上のピークがどの試験管に分画されているかを一目で確認できます。



リモートメンテナンス

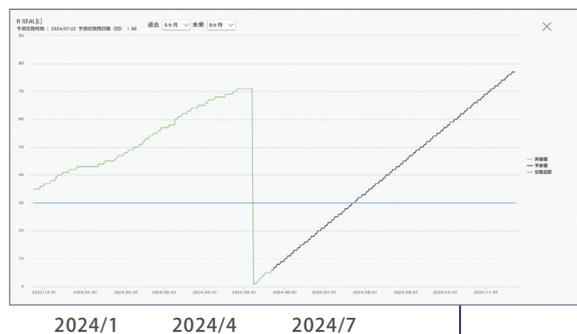
Smart Service Net

Product



M2M Smart Service Netは、IoTを活用して分析ラボにあるHPLC装置の稼働状況をクラウドサーバーに集約し、迅速かつ効率的にラボの装置管理を行えるシステムです。ラボ全体の装置の稼働状況を遠隔でモニタリングし、装置の稼働状況やエラー発生状況を確認できます。専用のソフトウェア

をインストールすることなく、自宅や外出先のPC・スマートフォンから、いつでもラボの状況を確認できます。エラーが発生した場合には、登録E-mailアドレスに自動通知するので、リモートワークにも最適です。



交換推奨日を予測し、事前に自動で通知



部品交換方法はメールのリンクで簡単に確認

以下のステップで交換します。選択すると各ステップの動画が表示されます。

1. ポンプヘッドを取り外す

A 回答



また、ラボの装置の安定稼働も強力に支援します。装置の稼働状況から消耗品の使用度数、交換時期を予測・管理し、交換予測日が近づいたら交換方法の動画とともにE-mailで自動通知します。装置のシステムチェックレポートをリモートで確認できるなど、急な装置トラブルを予防します。万一のトラブル時には、リモート診断でフィールドエンジニアが事前に状況を

確認し迅速に対応しますので、装置復旧までのダウンタイムを最小限に抑えることが可能です。

さらに、装置の稼働状態を見える化することにより、装置の最適な配置や更新等の検討に活用できます。稼働時間やエラー件数を監視し機器運用の改善を行うこともでき、機器の有効活用や資産管理をサポートします。



AIによる自動波形処理

Peakintelligence™

Product



LC



GCMS

Peakintelligenceは、独自開発したAIアルゴリズムを搭載した波形処理オプションソフトウェアです。熟練作業者が行った波形処理に対して、AI学習手法であるDeep Learningを用いているため、クロマトグラムのピーク検出をAIがアシストして、熟練者と同等レベルの解析を実現できます。多成分を対象とした複雑な試料の分析では、サンプル中に主成分と不純物の大小さまざまなピークが混在することが多く、パラメータの検討や手動での波形処理に時間を要していました。波形処理のノウハウを学習したAIアルゴリズムで、ユーザーによるパラメータの設定なしに自動で波形処理が行えます。手動での波形処理の修正が必要となる複雑な分析では、データ解析にかかる時間が約4分の1となります。



Peakintelligence for LC

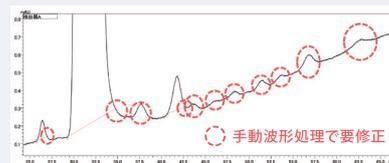
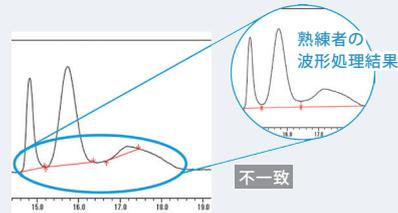
複雑なクロマトグラムでも、誤検出を抑え、小さなピークも正しく検出します。パラメータの設定なしで、作業者に依存しない安定した定量を実現します。LCのAI波形処理は当社オンリーワンの技術です。

当社標準搭載アルゴリズム



パラメータ設定が必要

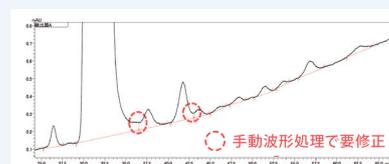
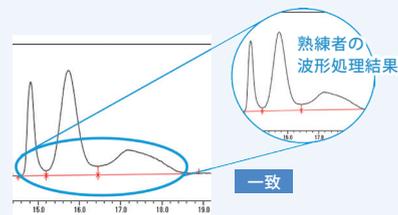
- 波形処理パラメータを検討する作業は、手間がかかる
- 設定が適切でない場合は、手動波形処理による修正が必要
- 作業者によって手動波形処理結果がばらつく



Peakintelligence for LC



- パラメータ設定なしで、作業者によらず、熟練者と同様の波形処理結果を実現
- 手動波形処理作業削減により、データ改ざんを疑われるリスクを低減



Peakintelligence for GCMS

質量分析では、多検体×多成分の一斉分析で、日々大量のデータを取得しています。代謝物分析では、測定対象の化合物が数百成分、データ解析作業の中でも特に波形処理では結果を目視で確認し、手作業での修正を行うため、膨大な時間がかかっています。また、残留農薬分析では、数百成分もの規制対象の農薬を一斉に分析する必要があり、波形処理パラメータの設定が難しく、手動での波形処理の修正も多く発生しています。

一方で、手動での波形処理結果を修正する場合、面積を小さく修正すると、データ改ざんの疑いが生じる可能性もあります。Peakintelligence for GCMSは、質量分析用データベースとの組み合わせで、分析とデータの解析作業を効率化し、データ解析にかかる時間を約4分の1に、定量結果の信頼性を向上します。

代謝物データへの適用



Smart Metabolites Database™ Ver. 2.0

+



Peakintelligence™ for GCMS

+



マルチオミクス解析パッケージ

残留農薬データへの適用



GCMS残留農薬分析用データベース Ver.2.1 / 2.2



Smart Pesticides Database™ Ver. 2.1

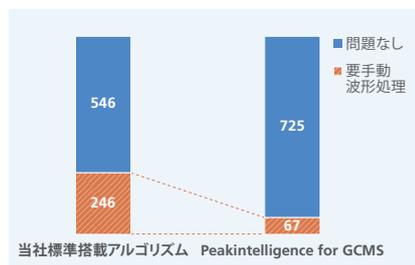
+



Peakintelligence™ for GCMS

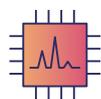
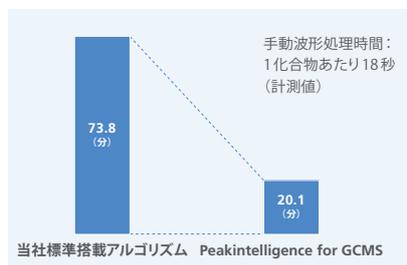
波形処理結果の修正が必要な化合物数

※当社テストデータの結果



手動波形処理にかかる時間

※当社テストデータの結果



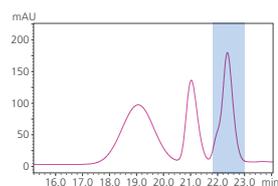
アルゴリズムによるクロマトシミュレーション

i-PDeA II

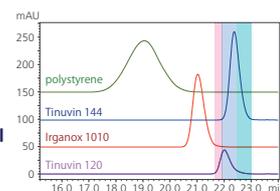
Product



LabSolutionsは、機種特有の優れたデータ解析機能を多数有します。LC (PDA検出器)とLabSolutionsの組み合わせでは、カラムでの完全分離や単純な波形処置では解決できないピークに対し、MCR-ALS(Multivariate Curve Resolution Alternating Least Squares)法をベースとした独自アルゴリズムi-PDeA IIを用いることで、未分離のピークの定性や定量、さらには隠れた不純物、微量成分の分析もできます。



単一ピーク要素にデコンボリューション



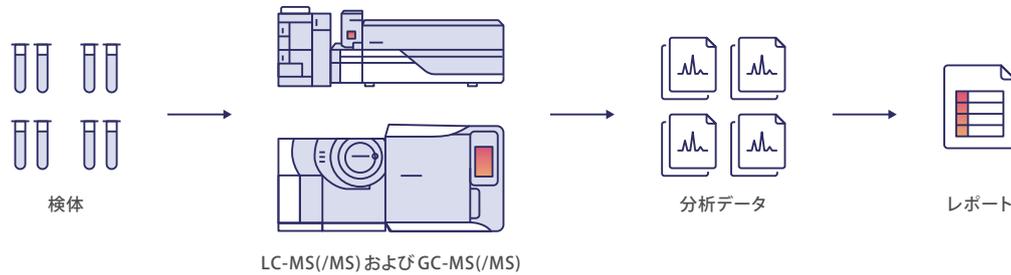
i-PDeA II のクロマトグラム



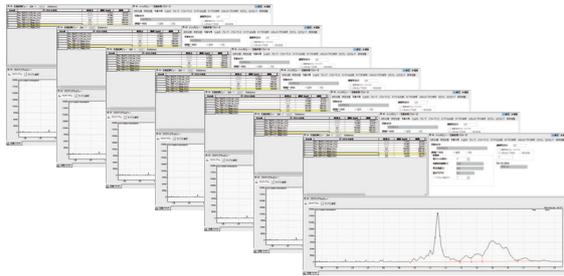
定量解析を高速化し、生産性を飛躍的に向上させるソフトウェア

LabSolutions Insightは、多検体データの解析をより簡便に、効率的に行い、研究・調査の効率を飛躍的に向上させるGC-MS(/MS)、LC-MS(/MS)用ソフトウェアです。高品質な質量分析データを日夜大量に得ることができる一方で、データの解析には膨大な時間を費やしており、分析の生産性を高めるには解析にかかる負担を軽減することが重要です。

LabSolutions Insightでは、多検体のデータを並べて一度に確認し、しきい値を設定することで注目すべきデータを一目で判別できます。定量解析を効率化し、トータルの解析時間を大幅に短縮することが可能です。さらに、化合物同定ワークフローやAIによるピーク検出、環境規制への対応などオプションも豊富で多くの業界に合わせてご利用いただけます。

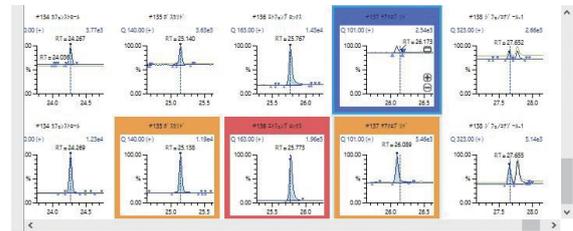


従来の解析



大量のデータを一つずつ開いて確認
画面を切り替え、全てのデータの確認が必要

LabSolutions Insightでの解析



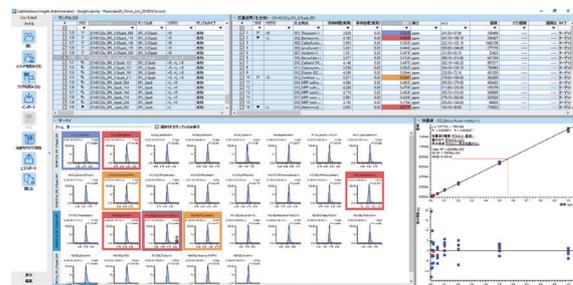
▼下限 ▼上限
警告域 注意域 注意域 警告域

大量のデータを並べて一度に確認 注目すべきデータは一目で判別!

一般的に定量解析のワークフローでは、同定ピークの確認、修正、定量結果の確認を行っており、多成分かつ多検体データの定量解析には非常に時間がかかります。

LabSolutions Insightでは、複数の分析データを並べて、同定ピークの保持時間のずれやサンプル間の強度差など一目で確認できます。また、同じ画面のまま波形処理結果の修正やターゲットイオン・確認イオンの入れ替えもでき、安定した定量を迅速に実行できます。定量結果の確認画面は、サンプルに対する各化合物の含有量や全サンプルの濃度を一覧で表示するなど、目的に合わせてカスタマイズでき、効率的な定量解析を支援します。

このように、LabSolutions Insightは多成分・多検体のデータ解析を強力にサポートする機能を備えており、定量解析にかかる時間を大幅に短縮できます。





多検体解析～合否判定

LabSolutions Insight Explore™

LabSolutions Insight Exploreは、定性解析から定量解析までをサポートするソフトウェアで、高分解能・高質量精度質量分析計データを用いた精度の高いライブラリ検索、構造解析、組成推定が可能です。分子式が同じ化合物は、高質量精度質量分析計においてもマスクロマトグラムピークで同定できませんが、ライブラリ検索機能に加え構造解析機能を用いることで、各化合物をより高い精度で同定できます。また、化合物検出機能で精密質量データから未知化合物の組成を推定し、分子式、構造式の検索が可能です。さらに、多価イオン解析オプションを用いることで、核酸医薬や抗体医薬のような分子量が大きいヌクレオチド・タンパク質の分子量推定にも活用できます。このように、未知化合物の定性・構造解析を実行し、定量解析までを簡単に実行できます。



核酸医薬専用解析～合否判定

LabSolutions Insight Biologics

Product



LabSolutions Insight Biologicsは測定から解析まで自動実行

シングル四重極 (SQ) 質量分析計、四重極飛行時間 (QTOF) 型質量分析計、MALDI-TOF 質量分析計を対象としたオリゴ核酸の特性解析ソフトウェアです。簡単な操作で主成分の配列入力や解析パラメータの設定を行うことができ、入力された配列を元に、オリゴ核酸の主成分や不純物を網羅的に同定し、MS/MS フラグメントスペクトルから配列を推定します。配列入力画面では、入力した配列の構造式がリアルタイムに表示され、入力間違いがないかを視覚的に確認できます。結果画面はクロ

マトグラム、マススペクトル、同定結果、配列カバレッジが表示されます。配列カバレッジの表示方法は2種類あり、確認したい項目に合わせて表示を切り替えることができます。レポートは5種類のフォーマットとユーザーカスタマイズのオプションがあり、ニーズに応じたレポート作成が可能です。また、ソフトウェアでの解析パラメータの変更はすべて操作ログに自動で記録されます。

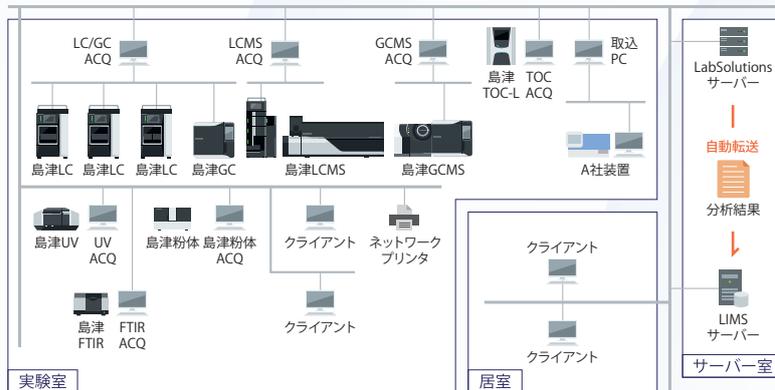
あらゆるラボの最適なパートナー

LabSolutions NETWORK

分析ラボのワークフローの効率化と万全なデータインテグリティ対応強化を両立し、あらゆる業界・部門へのソリューションを提供します

製薬業界向け

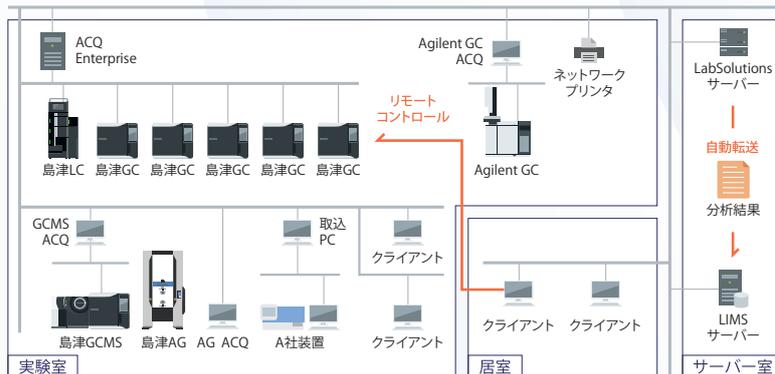
- CSV や PIC/s GMP ガイドライン、厚生労働省 ER/ES 指針、FDA 21 CFR Part 11 などの規制やガイドラインへ対応
- ネットワークに接続する装置すべての分析データと分析に関連する情報、一連のログとを紐づけて、1つのレポートにまとめて出力
- レビューすべきログの条件を設定・抽出でき、不正行為や疑義のあるログを効率的に確認、査察への対応を効率化
- LabSolutions MDを合わせて利用することで、医薬品規制調和国際会議 (ICH) が提唱する“Analytical Quality by Design (AQbD)”に基づくメソッド開発を実現



※ACQ:アキュイジションコントローラPC。分析装置を制御するためのPCです。

石油・化学業界向け

- GCやGC-MS, GPCシステムのリモートコントロール、複数人での同時作業で業務効率化
- ACQ Enterpriseで省スペース化を実現、貴重なラボスペースを有効活用
- 分析・再解析データはすべて自動保存、作業ミスによるデータの消失を防止
- 上位システムへのデータ送受信が一本化され、円滑な管理を実現。自動転送で転記ミスを防止



※ACQ Enterprise：島津LC、GCを最大20台制御できるサーバーです。

鉄鋼・輸送用機器業界向け

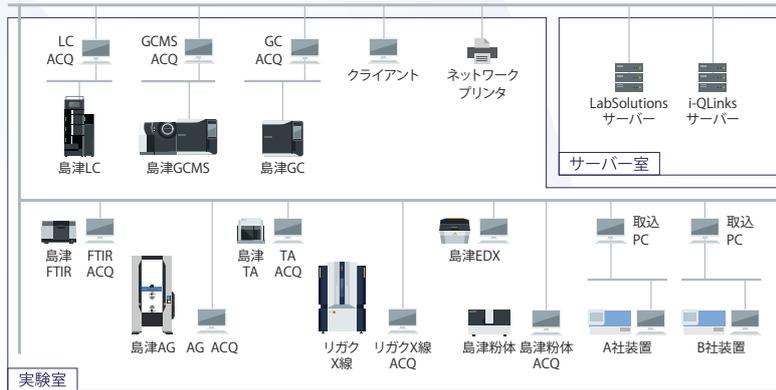
- 精密万能試験機の計測データも自動保存、データの改ざんを防ぎ、試験結果の信頼性向上
- 複数装置のデータもまとめて一括管理、膨大なデータから必要なデータを素早く検索
- 離れた拠点のラボのユーザー情報、分析データも一括管理、ユーザーのラボに合わせて柔軟なネットワーク構成が可能
- 複数装置のデータをまとめたレポートを自動で作成、文書作成業務を効率化





次世代電池業界向け

- LC、GC、LC-MS、GC-MSだけでなく、精密万能試験機や蛍光X線分析装置、X線回折装置、様々な分析・計測機器のデータを一括管理、効率的なデータの検索が可能
- 分析や解析などの操作はすべて自動で保存、データのトレーサビリティを確保
- 複数装置のデータを組み合わせたレポートを自動作成、転記ミスや改ざんを抑制
- LabSolutions i-QLinksで、複数の分析を組み合わせた試験を一目で確認、試験成績書の作成も自動化

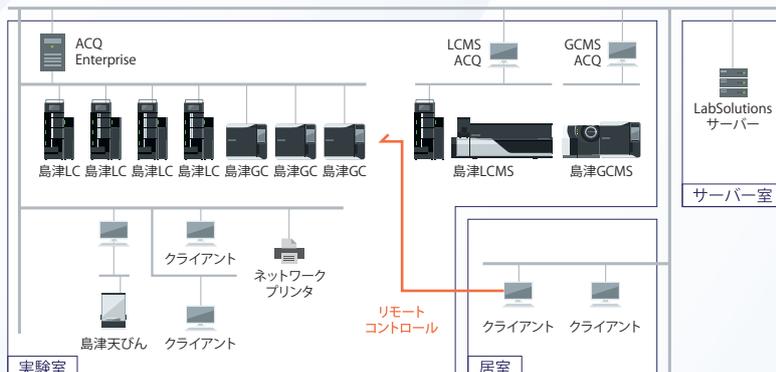


アカデミア研究室・共通機器室 / 公設試験研究機関向け

- 装置台数の少ない小規模なシステムから大規模な環境まで、お客様が使用する装置に合わせてネットワークを構築、装置やPCの増設も容易
- 装置やデータにアクセス権限を設定、関係者のみでデータを共有し、関係者外への情報漏洩を防止
- LC、GC、LC-MS、GC-MSは、分析中も別のPCからデータの閲覧・解析が可能、複数人同時作業で装置の稼働率を最大化
- ターミナルサービスを導入することで、ラボ以外の場所でも分析・データ解析を実行、柔軟なワークスタイルに対応

食品業界向け

- データはデータベースでプロジェクト単位の管理、関係者だけのデータ共有やGMP基準での管理を支援
- LabSolutionsの各装置データを組み合わせ、残留農薬分析や機能性成分分析などのデータ処理～合否判定～レポート作成を自動化、転記ミスや改ざんも防止
- LC、GC、LC-MS、GC-MSのリモートコントロールや複数人同時作業で業務効率化
- Peakintelligenceで誰でも簡単に波形処理を実行、効率的で安定した定量処理ワークフローを実現



多様化するラボを支える

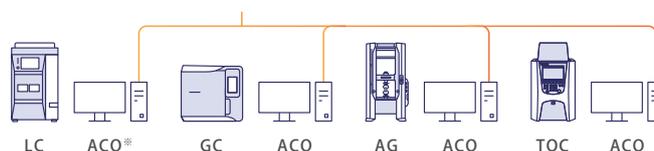
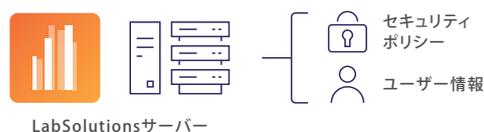
LabSolutions ファミリー

統一感のあるソフトウェアで共通の使用感

LabSolutionsは、分析・解析・レポート作成などの操作性が統一されています。装置に依存せず、操作方法を容易に習得でき、ラーニングコストを低減できます。

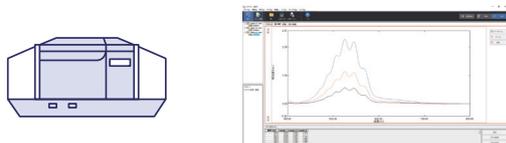
データだけでなくユーザー情報やシステム情報もサーバーで一括管理

LabSolutions CSは、データや操作ログに加え、ユーザーアカウント情報やシステムのセキュリティ情報もLabSolutionsデータベースで一括管理します。PCごとのユーザー管理・システム情報の設定は不要で、システム運用・管理の負荷を低減できます。また、システムバックアップのスケジュールを設定することで、すべてのデータを自動でバックアップできます。



LabSolutions UV-Vis

紫外可視分光光度計

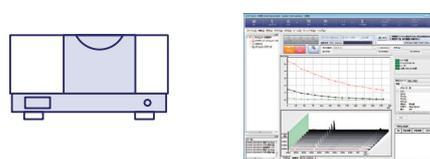


分光光度計をより早く、より簡単に、
分析者を手作業から解放

Simple, Smart, Seamlessなソフトウェアで誰でも起動して、すぐに分光光度計での分析・データの解析ができます。測定から解析・評価までを自動化。さらに測定データを別ソフトウェアに自動転送することも可能です。

LabSolutions IR

フーリエ変換赤外分光光度計

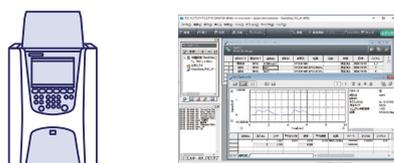


使いやすく、早く解析、
アプリケーションも充実

豊富なライブラリを標準搭載し、ヒット率の高い独自検索アルゴリズムで異物解析を効率化します。また、一連の測定や解析がワンクリックで実行可能であるため、分析フローを自動化・省力化することができます。

LabSolutions TOC

全有機体炭素計



豊富な機能でプロセス管理・品質管理・水質管理
などの分析業務を強力にサポート

測定条件やバイアル番号を設定したバッチテーブルを、スケジュールファイルとして登録できます。スケジュール中に精度管理用の試料を挿入すると、精度の許容範囲を超えた場合に再測定等の処置を自動で行い、ルーチン測定を効率化します。

LabSolutions AG

精密万能試験機

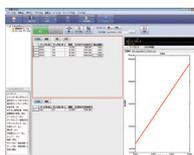


試験に合わせたフレキシブルなUIで
簡単と高機能を両立

試験制御、試験片、データ処理項目などわかりやすいイラストとガイダンスで迷わず試験条件を設定できます。また、引張、圧縮、曲げ試験に加え、ピール試験にも対応しており、医薬品の静的特性を簡易に求めることができます。

LabSolutions RF

分光蛍光光度計

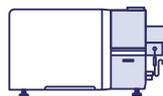


専門の蛍光分析を共通の操作で
分光蛍光光度計のオールインワンソフトウェア

スペクトル測定、定量測定など、メイン画面で測定を選び、共通の操作で実施できます。また、自動で補正スペクトルが得られ、異なる装置のデータを簡単に比較できます。3次元測定や蛍光量子収率・蛍光量子効率測定にも対応しています。

LabSolutions ICPMS

ICP 質量分析計

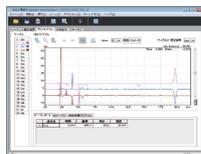
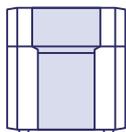


必要な情報を一つの画面に
誰でも迷わずに分析

分析中の試料のプロファイルや分析結果、装置状態を一つの画面で確認でき、レイアウトをワークフローに合わせてカスタマイズできます。さらに、装置状態や付属品情報については、エラーの発生、部品の交換目安時間などが一目でわかります。

LabSolutions PPSQ

プロテインシーケンサ

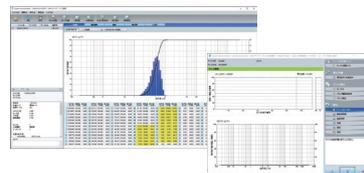


タンパク質のN末端アミノ酸配列分析を
より簡単に

クロマトグラムの表示、波形処理や複数クロマトグラムの重ね合わせなどで、シーケンス分析、同定をより簡単に実施できます。また、各サイクルの分析終了後にアミノ酸配列を自動で推定し、その確かさも数値で確認できます。

LabSolutions SALD

レーザー回折式粒子径分布測定装置



アシスト測定機能で確実な測定、
幅広い粒子濃度に対応

アシスト測定機能でのSOP作成でオペレータの負荷を低減、ミスのない確実な測定が可能です。また、多彩なシステム構成で低濃度0.1ppmから高濃度20%の幅広い粒子濃度に対応しています。

LabSolutions TA

熱分析装置



直感的な操作で測定から解析、
レポート出力までをスムーズに

よく使う機能がひと目でわかる、直感的なUIデザインを採用しました。使いやすいインターフェースで操作も簡単です。また、テンプレート機能を使用することで補正、解析、レポート作成の自動化を実現できます。

LabSolutions Balance

分析天びん



計量値と合わせて計量日時、作業者名、
サンプル情報も保存。転記ミスや改ざんを防止

計量値だけでなく、計量日時、作業者名、サンプル情報なども保存します。計量データと分析データを合わせて表計算レポートを自動で作成。システム適合性試験、溶出試験など幅広く対応できます。校正結果や操作履歴も合わせて保存します。

ソフトウェア製品カタログ一覧

LabSolutions DB/CS C191-0055	Smart Servis Net C191-0095
LabSolutions i-QLinks C191-0084	Peakintelligence C191-0094
LabSolutions MD C190-0548	Peakintelligence for LC C191-0103
簡単操作で分析法開発を省力化する LabSolutions MD C190-0575	Peakintelligence for GCMS C191-0409
LabSolutions Sync C191-0099	LabSolutions Insight C191-0081
Open Solution C191-0105	LabSolutions Insight Biologics C146-2278

LabSolutions、LCMS、GCMS、PPSQ、i-QLinks、Peakintelligence、Smart Metabolites Database、Smart Pesticides Database、LabSolutions InsightおよびLabSolutions Insight Exploreは、株式会社島津製作所またはその関係会社の日本およびその他の国における商標です。MicrosoftおよびAzureは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Google Cloud PlatformおよびGCPは、Google LLCの商標です。

本文書に記載されている会社名、製品名、サービスマークおよびロゴは、各社の商標および登録商標です。なお、本文中では「TM」、「®」を明記していない場合があります。本製品は、医薬品医療機器法に基づく医療機器として承認・認証等を受けておりません。治療診断目的およびその手続き上での使用はできません。トラブル解消のため補修用部品・消耗品は純正部品をご採用ください。外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

株式会社 島津製作所

分析計測事業部

604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1

製品情報



価格お問合せ



東京支社 (官公庁担当) (03) 3219-5631
(大学担当) (03) 3219-5616
(会社担当) (03) 3219-5622
関西支社 (06) 4797-7230
札幌支社 (011) 700-6605
東北支店 (022) 221-6231
郡山営業所 (024) 939-3790

つくば支店 (官公庁・大学担当) (029) 851-8511
(会社担当) (029) 851-8515
北関東支店 (官公庁・大学担当) (048) 646-0095
(会社担当) (048) 646-0081
横浜支店 (官公庁・大学担当) (045) 311-4106
(会社担当) (045) 311-4615
静岡支店 (054) 285-0124

名古屋支店 (官公庁・大学担当) (052) 565-7521
(会社担当) (052) 565-7531
京都支店 (官公庁・大学担当) (075) 823-1604
(会社担当) (075) 823-1603
神戸支店 (078) 331-9665
岡山営業所 (086) 221-2511
四国支店 (087) 823-6623

広島支店 (082) 236-9652
九州支店 (官公庁・大学担当) (092) 283-3332
(会社担当) (092) 283-3334

島津ホールセンター ☎ 0120-131691
(操作・分析に関する相談窓口) IP電話等: (075) 813-1691